



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 武部 一弘 TEL 048-523-3311  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,395	6.8	97	359.6	99	497.6	68	—
2019年3月期第1四半期	1,307	△3.4	21	△76.4	16	△80.6	△7	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 21百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △33百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	46.24	—
2019年3月期第1四半期	△5.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	23,125	11,046	47.7	7,425.80
2019年3月期	23,279	11,025	47.3	7,411.35

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 11,035百万円 2019年3月期 11,013百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,800	3.5	150	63.0	150	76.5	140	112.1	94.21
通期	5,600	7.4	290	279.3	280	324.2	230	123.3	154.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	1,500,000株	2019年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	13,958株	2019年3月期	13,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,486,042株	2019年3月期1Q	1,486,104株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取組むことで運転無事故を継続し、営業活動においては、各種イベントの実施や沿線の市町、商業施設、同業他社等と連携した誘客活動を積極的に実施し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は1,395百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は97百万円（同359.6%増）、経常利益は99百万円（同497.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

## [鉄道事業]

旅客部門におきましては、「わくわく鉄道フェスタ」等のイベントを開催したほか、改元を記念したSL列車の運行や記念入場券の発売を行ないました。また、秩父「芝桜の丘」に会場された旅客の沿線観光への誘致に努めました。その他、大型連休の効果もあり定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。一方、定期旅客人員及び定期旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、輸送計画が前年同期と比較し一部変更となり当期間の輸送量が増加したほか、昨年10月1日に実施した基本賃率引上げの効果もあり、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、電力料金単価の値上がりの影響などにより、前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は920百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は47百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

## [不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸物件の入居率が向上し、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は95百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は49百万円（同5.7%減）となりました。

## [観光事業]

観光事業におきましては、4月から5月にかけて荒川の濁水により長瀬ラインくだりの通常運航ができない日が続くなど、天候不順の影響により営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は112百万円（前年同期比13.2%減）、営業損失は0百万円（前年同期は14百万円の営業利益）となりました。

## [バス事業]

バス事業におきましては、貸切バスの稼働率が伸びず営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、修繕費の増加等もありましたがその他費用の削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は100百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は1百万円（同123.4%増）となりました。

## [その他事業]

その他事業におきましては、熊谷駅南口のコンビニエンスストアが堅調に推移し、営業収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は261百万円（前年同期比9.4%増）、営業損失は1百万円（前年同期は16百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ153百万円減少し23,125百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、25百万円減少し1,591百万円、固定資産は128百万円減少し21,534百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が増加した一方、現金及び預金並びにその他に含まれる補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、その他有価証券の時価が減少したほか固定資産等の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し12,078百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ173百万円減少し3,443百万円、固定負債は1百万円減少し8,635百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金、賞与引当金並びにその他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し11,046百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	827,392	804,190
受取手形及び売掛金	317,399	464,590
分譲土地建物	107,356	103,745
商品及び製品	27,524	30,785
原材料及び貯蔵品	136,872	137,341
その他	204,331	55,364
貸倒引当金	△4,418	△4,767
流動資産合計	1,616,458	1,591,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,191,447	14,194,681
減価償却累計額	△9,816,733	△9,854,889
建物及び構築物（純額）	4,374,713	4,339,791
機械装置及び運搬具	5,107,910	5,107,910
減価償却累計額	△4,449,798	△4,488,568
機械装置及び運搬具（純額）	658,112	619,342
土地	15,870,839	15,891,939
その他	707,951	717,585
減価償却累計額	△618,163	△624,699
その他（純額）	89,788	92,885
有形固定資産合計	20,993,453	20,943,958
無形固定資産	27,521	21,339
投資その他の資産		
投資有価証券	593,350	529,665
繰延税金資産	21,751	11,892
その他	48,808	49,479
貸倒引当金	△22,019	△22,078
投資その他の資産合計	641,891	568,958
固定資産合計	21,662,866	21,534,257
資産合計	23,279,324	23,125,507

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,893	135,775
短期借入金	1,159,000	1,215,000
1年内返済予定の長期借入金	1,073,683	1,089,762
未払法人税等	29,756	6,374
未払消費税等	52,263	75,925
賞与引当金	193,289	114,577
その他	947,590	806,109
流動負債合計	3,617,476	3,443,524
固定負債		
長期借入金	2,108,636	2,143,406
繰延税金負債	11,168	10,021
再評価に係る繰延税金負債	4,554,262	4,554,262
退職給付に係る負債	1,672,809	1,636,566
特別修繕引当金	145,600	150,800
長期預り金	95,761	91,838
その他	48,371	48,371
固定負債合計	8,636,608	8,635,265
負債合計	12,254,085	12,078,790
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,952	21,952
利益剰余金	△90,729	△22,008
自己株式	△30,593	△30,593
株主資本合計	650,629	719,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361,621	317,215
土地再評価差額金	9,983,917	9,983,917
退職給付に係る調整累計額	17,406	14,571
その他の包括利益累計額合計	10,362,945	10,315,705
非支配株主持分	11,664	11,661
純資産合計	11,025,239	11,046,716
負債純資産合計	23,279,324	23,125,507

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益	1,307,031	1,395,332
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	943,223	948,435
販売費及び一般管理費	342,508	349,004
営業費合計	1,285,731	1,297,440
営業利益	21,299	97,891
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	4,839	4,851
土地物件貸付料	5,069	3,615
その他	1,781	4,853
営業外収益合計	11,692	13,323
営業外費用		
支払利息	8,696	7,561
減価償却費	4,095	4,095
その他	3,620	467
営業外費用合計	16,412	12,124
経常利益	16,580	99,090
特別利益		
固定資産売却益	48	—
補助金受入額	300	—
特別利益合計	348	—
税金等調整前四半期純利益	16,928	99,090
法人税、住民税及び事業税	1,221	2,380
法人税等調整額	23,402	27,972
法人税等合計	24,623	30,353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,694	68,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,722	68,721



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△7,694	68,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,797	△44,425
退職給付に係る調整額	△2,689	△2,834
その他の包括利益合計	△25,486	△47,260
四半期包括利益	△33,181	21,477
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,198	21,481
非支配株主に係る四半期包括利益	17	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	834,862	92,434	129,112	103,808	1,160,218	146,812	1,307,031	—	1,307,031
セグメン ト間の内部 営業収益 又は振 替高	2,294	1,806	153	349	4,603	91,912	96,516	△96,516	—
計	837,157	94,240	129,266	104,158	1,164,822	238,725	1,403,547	△96,516	1,307,031
セグメント 利益又は損 失(△)	△33,177	51,963	14,759	827	34,372	△16,957	17,415	3,884	21,299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整3,884千円には、固定資産未実現損益の消去額453千円、セグメント間取引消去3,431千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	918,215	94,030	112,034	100,923	1,225,204	170,127	1,395,332	—	1,395,332
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	2,523	1,806	165	—	4,494	91,033	95,528	△95,528	—
計	920,739	95,836	112,199	100,923	1,229,699	261,160	1,490,860	△95,528	1,395,332
セグメント 利益又は損 失(△)	47,516	49,008	△576	1,848	97,796	△1,148	96,648	1,243	97,891

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整1,243千円には、固定資産未実現損益の消去額511千円、セグメント間取引消去732千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	1,336	1,381	△3.2
	定期外	〃	763	754	1.2
	計	〃	2,099	2,135	△1.7
貨物トン数		千トン	515	429	20.0
旅客収入	定期	百万円	183	191	△4.2
	定期外	〃	321	317	1.3
	計	〃	505	509	△0.8
貨物収入		〃	352	266	32.2